

9月11日、12日の本会議では、10名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

加西市消防団について



中右 憲利 議員
(21 政会)

- 問** 8月に議会と消防団幹部との意見交換会を行い、さまざまな具体的な要望を聞かせていただいた。主な要望は次の4点。
①鶉野飛行場跡地に消防団の操法・礼式大会を開催できるような防災公園を作っていただきたい。特に再来年の操法大会は整備された場所で開催できるよう整備してほしい。
②市の補助をいただき、できれば不燃性の統一した活動服を消防団員全員に支給したい。
③昼の時間帯は仕事で市内にいな

い消防団員が多い。他市では機動性を高めるために消防団OBの組織や分団に1部ずつ緊急出動できる団員を選抜し機能別消防団・特設消防団を編成している。女性消防団員も広報、高齢者のケア等に活躍しており、加西市でも組織編成を検討してほしい。

④各町とも若い人が減り、消防団の定員を満たすのに四苦八苦している。部の合併、定員の変更を含め、今後の消防団の形を検討していただきたい。

以上の要望を含め、市として消防団の今後について具体的、包括的に検討していただきたい。

答 消防団に関し、組織のあり方や行政との関わり等について検討すべき時期に来ていると認識しています。そこで今年度、消防団のあり方検討委員会を立ち上げ、具体的に議論を進めていき

たいと考えています。

問 それはいつから、どれぐらいの期間で検討し結論を出されるのか。またメンバーはどのような人たちを考えているのか。

答 時期的には間もなく立ち上げられるよう、人選も含めて検討しています。期間は今年度末を目途と考えています。構成員は、外部の有識者をお願いするとともに、消防署や消防団関係者、区長をはじめとする自治会組織関係者、商工業関係者、婦人防火クラブの方々、消防団員の奥様、消防団の若い世代の方々を考えています。

■その他の質問項目

- ・ 主要道路等整備について
- ・ 空き家バンク等について
- ・ 福祉施策について

北条鉄道について



黒田 秀一 議員
(自民の風・誠真会)

問 交差施設整備事業の概要について。

答 法華口駅に、安全に列車の交差が行える保安システムを導入し、列車の交差設備を整備します。現在1時間に一往復の運行を30分に短縮し、朝夕これまで接続できていなかったJR加古川線及び神戸電鉄粟生線に接続することにより通勤、通学の利便性の向上を図ります。また、イベント列車の単独運行が可能となるため通勤、通学、観光による利用者

の増加を図るものです。

問 取締役会での交差施設整備事業の反対意見について。

答 費用対効果があるのかという意見でした。株主総会で説明と議論を重ね、全会一致で承認を得て、その後の取締役会においても全会一致で承認を得ています。

問 交差施設整備事業の費用対効果について。

答 国が策定している評価マニュアルに基づき、詳細な費用便益分析を行っています。事業費やランニング費用の増加に対し、利用者の時間短縮等、利便性向上の効果がどの程度あるのかを算定します。費用は1年間で1,000万円程度に対し、便益は時間短縮等の効果により1年間で2,500万

円程度と算出し、費用対効果は十分にであると判断しています。

問 交差施設整備事業実施による効果の根拠について。

答 【副市長】費用便益分析でも優位になる結果が出ています。さらに、鶉野飛行場跡地の整備を進めており、市内外から多くの訪問者が現在ふえています。法華口駅を起点とした散策道路も整備しており、今後、周辺整備が進むとさらなる集客が期待できます。交差施設整備事業は、このような事業と相乗効果が得られる事業と考えています。

■その他の質問項目

- ・ 地方創生推進交付金と空の駅について
- ・ 防災について
- ・ 犯罪被害者等支援条例について